

# 紫明学区

- ・人口 5,683 人
- ・世帯数 3,119 世帯

\*人口、世帯数は令和8年1月1日現在  
(京都市住民基本台帳より)

## <住民組織の名称>

紫明学区各種団体連合会

## <主な年間行事>

- 7月 七夕のつどい
- 8月 夏まつり
- 9月 敬老会
- 10月 区民運動会
- 11月 防災訓練
- 12月 ふれあい行事
- 3月 ひな祭りのつどい



## <主な通年行事>

すこやか学級（第2木曜日・地域文化プラザ）、インターバル速歩（第3土曜日・紫明校グラウンド）、オアシスひまわり（第4木曜日・清明高校）

火災予防の巡回広報（毎月5日・20日 無火災推進日）



## <学区の概要・活動PR>

紫明学区は上賀茂神社の膝下の神領で加茂六郷の一つ小山郷の中の町で、大正迄は田畑が広がったのどかな田園地帯で有りました。御土居の洛中の北の道鞍馬口通から昭和に入り田畑の区画整理が始まり、綺麗な区画の街並みが出来上がりました。その当時新築の紫明校の校庭にも小川が流れていて、川横の大きな柳の木が有り、40年代まで校庭に有りました。街並みが出来て、中京区から室町の呉服店の本宅や学者の広辞苑編纂者の新村出氏、大学教授や華道家元の池坊氏等、文化人が多く住む町が出来た。戦争中に現在の紫明通りは北側に松ヶ崎から来る疎水が流れた細い道でしたが、戦争中に立退で今の大きな道に成り、文化勲章受章者の新村出氏が紫明通と名付けられた大きな道に生まれ変わりました。

御花畑屋敷近衛別邸は平成28年（2016年）に新史料が見つかり、御花畑御屋敷は鞍馬口通りに面してあったことが確認されました。御花畑御屋敷は小山町から上江町にまたがる鞍馬口通 約90m、室町通 約60m、中町通 約140m面 約1800坪 という広大な邸宅であったことがわかりました。ここで薩長同盟が締結されました。

擁翠園はもとは後藤氏一族の邸宅で明治に入り三井家の別邸に成りました。

擁翠園は代々金工を業とする後藤家の邸宅で、後藤家は特に刀装の金具に優れた技術を伝えていましたが、北条氏に没収され、その後徳川家康から旧領として後藤長乗に与えられました。後藤家の名前は町名で長乗町に現在残って居ます。



敬老会上総幼兒園



七夕のつどい